

粗飼料(飼料用稲わら)の放射性物質調査の結果について

県では、原子力発電所事故後に作付け・利用される粗飼料の安全性を確認しているところですが、このたび県内12箇所採取した県内産の飼料用稲わらについて、放射性物質の調査をしたところ、次のとおり結果が判明しましたのでお知らせします。

1 調査結果

単位：ベクレル/kg  
放射性セシウム

品目	調査地域	市町村	放射性セシウム
飼料用稲わら	村山	山形市	不検出
〃		寒河江市	不検出
〃		尾花沢市	不検出
〃	最上	新庄市	不検出
〃		最上町	不検出
〃		真室川町	不検出
〃	置賜	米沢市	不検出
〃		川西町	不検出
〃		飯豊町	不検出
〃	庄内	鶴岡市	不検出
〃		酒田市	不検出
〃		遊佐町	不検出
暫定許容値			300

〔検査期間〕 9月5日から12日

〔検査機関〕 株式会社理研分析センター

2 県の対応

いずれも放射性セシウムは不検出であり、県内一円において県内産の飼料用稲わらの利用を指導していきます。

今後は、稲ホールクroppサイレージ(WCS)についても調査を行い、その安全性を確認していきます。

なお、飼料用米については、利用可否の判断方法等について国から別途示されることとなっており、その方針を受けて適切に対処してまいります。

【問い合わせ先】  
農林水産部畜産課  
課長補佐 須藤 政彦  
TEL 023-630-3350  
[報道監]  
農林水産部次長 若松 正俊  
TEL 023-630-2411